

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所Wao!		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 15日		～ 2024年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者との情報共有	・保護者会の実施 ・活動プログラムや保育所等訪問支援についての説明会を開催している。 ・月1回の親子通所日を設けている。	
2	・言語聴覚士・保育士・児童指導員といった専門職が療育・支援に関わっている。	・各専門職がプログラムの作成にかかわっている。 ・言語指導に関しては、専門的支援実施計画を作成している。	・客観的な評価・アセスメントを行い、強みを活かした支援・弱みに対する環境設定や配慮を行っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・各種マニュアルに対する保護者への周知・発信不足。	・各種マニュアルに対しての計画は作成されているが、契約時のみの説明に留まり、周知機会が不足している。	・年度初めに保護者へ周知していく。 ・Wao!だよりを通じて保護者へ取り組みを発信していく。
2	・地域との交流機会が不足している。	・「保育所や幼稚園等との交流や地域の子どもと活動する機会」を活動として提供できていない。 ・療育を経験したほとんどの方が保育所や幼稚園に通園されている。 ・併行通園に向けての療育という位置付けとなっている。	・保護者からの要望などを伺いながら、必要とされている交流の方法などを検討していく。
3			